

単元名:チャンス(長寿)の秘訣！									
科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー				
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-				
話題分野	からだと健康	言語レベル	4	必要時間数	8時間				
Ⅰ 単元目標									
日本や韓国で実在する(した)長寿の人の、健康法や長寿の秘訣を調べて発表し、どうすれば自分たちも健康で長生きができるかを考えて文章にまとめることができる。				言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
			わかる						
			できる						
			つながる						
言語領域			文化領域		グローバル社会領域				
◆長寿に関する文章を読んで発見したことや自分の考えを話すことができる。 ◆長寿について書かれた文章を読んだりドラマを見たりして、その秘訣を話し合うことができる。 ◆日韓の伝統的な健康維持法や病気の治療法について調べ、それぞれの特徴をクイズ形式で出題することができる。 ◆からだの部位を使った日韓の表現を比較し、それぞれの考え方について話し合うことができる。			◆日本と韓国での長寿の人々の生活パターンや食生活などを比較し、共通点や相違点をみつけることができる。 ◆からだや健康をテーマにした表現を日韓で比較し、両国での考え方や対処法の共通点や相違点を理解することができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。		◆日本と韓国が世界でも有数の長寿大国になった背景を考察する。しかし、その一方で超少子化社会など、抱える問題が大きいことも理解し、その原因を考察することができる。(知識理解) ◆ネットなどを利用して、長寿社会についての情報を得ることができる。(情報活用) ◆協力して発表の準備をおこなうことができる。(協働) ◆自らの老後を考えることによって、高齢者の目からみた日本や韓国社会の現状を理解することができる。(高度思考) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。				
コミュニケーション能力指標	【からだと健康】 4-a. 健康や保健に関する文章(運動と体力づくり、からだのしくみなど)を読んで、発見したことや自分の考えを話すことができる。 4-b. 韓方薬や韓方医学について書かれた文章を、読んで理解できる。 4-c. 日本と相手の国の伝統的な健康維持法や病気の治療法について調べ、それぞれの特徴をレポートにまとめることができる。 4-d. からだの部位を使った日本語と学習対象言語の表現を比較し、それぞれの考え方について、話しあうことができる。								
	★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。								

Ⅲ 学習活動と評価	
ブレコミュニカティブ活動（語彙・表現習得活動）	学習を助けるための評価（形成的評価）
◆韓方薬や薬膳料理を扱ったテレビドラマ『ホジュン』『大長今』『濟衆院』などを鑑賞し、韓国の伝統的な健康維持法や治療法でわかったことを話し合い、ドラマで気になった韓方薬材について調べ、レポートにまとめて提出する。【4-b,c】 ◆日本や韓国の民間療法にはどんな物があるかグループごとに分かれて調べ、クラスでクイズ形式の問題を出し合う。【4-c】 ◆韓国でベストセラーになっている健康に関する本の概要をインターネットなどで調べ、自分の生活とくらべて共通点、相違点、見習うべき点はないか、について話し合う。【4-a】 ◆からだの部位を使った慣用表現が使われている場面をドラマや映画から取りあげて観賞し、どういう意味なのか、なぜそのような意味になったのか、また、日本語だったら何と言うのか話し合う。ペアになってその表現を使った会話をし、発表し合う。【4-d】 ◆人間が天寿を全うするのに必要な条件といわれているものや注意すべき点を、いろいろな資料から調べてきて、発表する。【4-a,b,c】 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	◆身体部位をつかったことわざの理解度を測る簡単な小テスト。（正確さなど） ◆民間療法についてのクイズ。（分かりやすさ、面白さ、参加度など） ◆映画を見てレポートを書く。（表現、要点、分かりやすさ、情報量、取り組み姿勢など）
コミュニケーション活動（学習シナリオ）	
＜場面状況＞ K大学の韓国語のクラスでは、韓国や日本で長寿といわれる人たちをとりあげ、その人生や秘訣を調べて発表することになった。 ＜活動の流れ＞ 韓国で長生きで有名な人、健康法を実践していることで知られている人の紹介文やエッセイを読み、体によい健康法を抜き出す。グループに分かれ、それぞれ日本と韓国で長寿として知られている人物をひとりずつピックアップし、その人の人生や健康法を紹介する。できるだけ見ている人に興味を持ってもらえるように紹介する。 日本と韓国が世界でも有数の長寿国である要因を話し合う。一方で、長寿社会に伴って生じている社会問題を調べて発表する。他の地域が長寿国になるためにはどんな条件が必要かについても話し合う。 自分の老後を想像して、どんな老後にしたいか(なっているか)話し合う。「70年後のわたし」と題したレポートを書く。 ヒント👉 ◆自分の周囲にも長寿の人はいないか考えてみる。韓国の老人とどこが違ってどこが似ているかも考えてみよう。 ◆韓国の平均寿命、3大疾病や死亡原因を調べる、韓国の医療制度についても調べる。	
＜目標達成度を測る全体的評価（総括的評価）＞ ◆日韓で長寿の人を紹介する発表を行なう。（表現の適切さ、要点の簡潔さ、感想の有無など） ◆「70年後のわたし」のレポートを書く。（学んだことを踏まえたか、前向きか、示唆的か、表現が適切かなど）	
＜使用教材・教具＞ 健康を扱ったドラマ、絵、図、エッセイ本、写真、PC、プロジェクター、パワーポイントなど	
教室外（人・モノ・情報）との連繋	他教科の内容との連繋
東洋医学、漢方医、韓方医院、鍼灸師、年配の知識（民間療法）、東宝医鑑、手記、長寿を扱った実用書	保健体育、家庭科（栄養学など）、地理、現代社会